

「知られざるコンピューターの思想史」第1部 年表 ～ライプニッツ誕生(1646)からフォン・ノイマン死去(1957)まで～

西暦	オーストリア				ドイツ		アメリカ	イギリス	その他
	ハンガリー	チェコ	ポーランド	本国	プロイセン	ドイツ諸邦			
1646						ライプニッツ誕生(ライプチヒ)			
1695						ライプニッツ、普遍記号学を構想(ハノーファー選帝侯領)			
1700									
1701					プロイセン王国成立				
1702					ライプニッツ、二進法を確立				
1714								ハノーファー選帝侯ゲオルグ・ルートヴィヒ、イングランド王に即位(ハノーヴァー朝)	
1715						ライプニッツ、ニュートンの支持者と論争			
1716						ライプニッツ死去(ハノーファー選帝侯領)			
1724					カント誕生				
1737						ゲッティンゲン大学設立(ハノーファー選帝侯領)			
1772			ポーランド分割 ルヴフがレンベルクとなる						
1776							アメリカ独立宣言		
1789									フランス革命
1800									
1804					カント死去				ナポレオン、フランス皇帝に即位
1806					プロイセン、フランスに宣戦布告				
				神聖ローマ帝国解体					
	オーストリア帝国成立								
1807			ワルシャワ公国独立			ティルジットの和約			
1810						ベルリン大学設立			
1812						・大学入学制度厳格化 ・ユダヤ教徒解放令によりユダヤ教徒も大学入学可能に			
1814	ウィーン会議								
1815					ドイツ連邦成立				
1818						ヘーゲル、ベルリン大学の哲学教授職就任			
1819			レンベルク大学再建						
1832						ヴント誕生(バーデン大公国)			
1837								ヴィクトリア女王即位、ハノーヴァー朝終わる	
1838		マッハ誕生							
1840	ブダペスト大学、ハンガリー語授業開始								
1846						・カール・ツァイス創業(イェーナ) ・フレーゲ誕生			

「知られざるコンピューターの思想史」第1部 年表 ～ライプニッツ誕生(1646)からフォン・ノイマン死去(1957)まで～

西暦	オーストリア			ドイツ		アメリカ	イギリス	その他
	ハンガリー	チェコ	ポーランド	本国	プロイセン			
1850					プロイセン憲法発布			
1856						ヴント、ハイデルベルク大学で博士号取得 (バーデン大公国)		
1862					ブレンターノ、ベルリン大学で博士号取得			
					ヒルベルト誕生			
1865					新カント派が広まる。「カントに帰れ」			
1866				トファルドフスキ誕生				
				普墺戦争				
1867	オーストリア・ハンガリー二重帝国成立				北ドイツ連盟成立			
						ブレンターノ、ヴェルツブルク大学で教授資格取得 (バイエルン王国)		
1869						フレーゲ、イエーナ大学に入学		
1871					普仏戦争でプロイセン勝利、ドイツ帝国成立			
1872							ラッセル誕生	
1873					フレーゲ、ゲッティンゲン大学で博士号取得			
1874				ブレンターノ、ウィーン大学の心理学教授職就任	フレーゲ、イエーナ大学で教授資格取得			
1878			ウカシェヴィチ誕生					
1879				ハーン誕生	・フレーゲ、「概念記法」出版 ・アインシュタイン誕生			
1882		ブラハ大学分裂		ノイラート誕生	シュリック誕生			
1884				フランク誕生				
1886								レシニェフスキ誕生 (ロシア)
1891					ライヘンバッハ誕生			
1893					フレーゲ『算術の基本法則・第1巻』出版			
1895			トファルドフスキ、レンベルク大学の哲学教授職就任	・ブレンターノ、ウィーン大学辞職 ・マッハ、ウィーン大学の科学哲学教授職就任	ヒルベルト、ゲッティンゲン大学の数学教授職就任			
1897					『カント研究』創刊			
1900					ヒルベルト、ヒルベルト・プログラムを提唱			
1901			タルスキ誕生	・マッハ、ウィーン大学辞任 ・ボルツマン、マッハの後任として科学哲学教授職就任				
1902			ウカシェヴィチ、レンベルク大学で博士号取得		・フレーゲ、「ラッセルのパラドクス」を知らされる ・新カント派のカッシーラー、フレーゲとラッセルを批判			
1903	フォン・ノイマン、ナイマン家に誕生					チャーチ誕生		
1904					カント協会設立		ラッセル、「表示について」出版	
1906			ウカシェヴィチ、レンベルク大学で教授資格取得	ゲーデル誕生	ノイラート、ベルリン大学で博士号取得			
1907				ハーンとノイラート、ラッセルについて研究を開始				
1908						クワイン誕生		
1909				ハーン、ウィーン大学を去る				
1910		アインシュタイン、ブラハ大学の物理学教授職就任	ウカシェヴィチ、レシニェフスキと出会う				ラッセル、「プリンキピア・マテマティカ・第一巻」出版	
1912		フランク、アインシュタインの後任としてブラハ大学の物理学教授職就任						アインシュタイン、チューリッヒ工科大学の物理学教授職就任 (スイス)
1913	ナイマン家、姓を「マルギッタ・ナイマン」に変更				アインシュタイン、ベルリン大学の物理学教授職就任			
1914	第一次世界大戦勃発							
				ハーン、オーストリア兵として従軍				レシニェフスキ、ロシア移住
1915			・ワルシャワ大学再建 ・ウカシェヴィチ、ワルシャワ大学の論理学教授職就任		・アインシュタイン、ヒルベルトの依頼によりゲッティンゲン大学で講演 ・ライヘンバッハ、エアランゲン大学で博士号取得 マッハ死去			
1917			レシニェフスキ帰国		・ハーン、ボン大学の数学教授職就任 ・ノイラート、ハイデルベルク大学で教授資格取得			ロシア革命 ブレンターノ死去 (スイス)
1918	第一次世界大戦集結							
1918	ハンガリー王国独立	チェコスロバキア共和国成立	・ポーランド王国成立 ・レンベルクがルヴフに戻る ・タルスキ、ワルシャワ大学入学	オーストリア共和国成立	ドイツ帝国解体 ノイラート、バイエルン革命に参加			
1919			・ウカシェヴィチ、ポーランド教育大臣就任 ・レシニェフスキ、ワルシャワ大学で教授資格取得		ヴァイマル共和国成立 ミュンヘン・ソビエト共和国解体によりノイラート投獄			

「知られざるコンピューターの思想史」第1部 年表 ～ライプニッツ誕生(1646)からフォン・ノイマン死去(1957)まで～

西暦	オーストリア				ドイツ		アメリカ	イギリス	その他
	ハンガリー	チェコ	ポーランド	本国	プロイセン	ドイツ諸邦			
1920				ノイラート帰国	ライヘンバッハ、シュツットガルト工科大学で教授資格取得				
1921				ハーン、ウィーン大学の数学教授職就任					
1922	フォン・ノイマン、ブダペスト大学に入学			シュリック、ウィーン大学の科学哲学教授職就任					フォン・ノイマン、チューリッヒ工科大学に入学 (スイス)
1923									フォン・ノイマン、「ノイマン・フォン・マルギッタ」と名乗るようになる
1924			・ウカシェヴィチ、ポーランド記法開発 ・タルスキ、姓を「タルスキ」に変更 ・タルスキ、ワルシャワ大学で博士号取得	・シュリック、木曜の会合 (後のウィーン学団) 開始 ・ハーン、「プリンキピア・マテマティカ」セミナー開始	フレーゲ死去				
1926				ノイラート、アインタイプ開発	フォン・ノイマン、ゲッティンゲン大学留学 ・ブランク、ベルリン大学の物理学教授職引退、後任としてシュレディンガーが就任 ・ライヘンバッハ、ベルリン大学で科学哲学を教え始める				
1927					チャーチ、ゲッティンゲン大学留学				
1928				・カルナップ、ウィーン大学で教授資格取得 ・マッハ協会結成	ヒルベルト、「数理論理学の基礎」出版 フォン・ノイマン、ベルリン大学で教授資格取得				
1929		第一回「厳密科学の認識論」(ブラハ)	メンガー、ワルシャワ訪問	「科学的世界把握・ウィーン学団」出版	チャーチ、プリンストン大学の数学教授職就任				
1930			タルスキ、幾何学の決定問題を解決 (完全性証明)	タルスキ、ウィーン訪問	第二回「厳密科学の認識論」でゲーデルが不完全性定理を公表		フォン・ノイマン渡米		
1931		カルナップ、ブラハ大学の哲学教授職就任							
1932				ゲーデル、ウィーン大学で教授資格を取得 クワイン、ウィーン訪問	ナチス、ドイツ帝国議会で第一党に		・チャーチ、ラムダ計算を考案 ・クワイン、ハーバード大学で博士号取得		
1933		クワイン、ブラハ訪問	クワイン、ワルシャワ訪問		ナチスが政権掌握、ライヘンバッハ失職		プリンストン高等研究所設立、フォン・ノイマン数学教授職就任		
1934		「統一科学国際会議」ブレ大会 (ブラハ)		・ファシズム政権誕生によりマッハ協会解散 ・ハーン死去	ヒトラー 総統就任				ノイラート、オランダ亡命、国際統一科学研究所設立 ライヘンバッハ、トルコ亡命
1935				タルスキ、ウィーン滞在			カルナップ渡米		第一回「統一科学国際会議」(パリ)
1936				シュリック殺害			チャーチ、決定問題を解決 チューリング、プリンストン大学大学院入学 ヘンベル渡米	チューリング、決定問題を解決 (チューリング・マシン)	第二回「統一科学国際会議」(コペハーゲン)
1937							フォン・ノイマン、「フォン・ノイマン」に改名		第三回「統一科学国際会議」(パリ)
1938			トファルドフスキ死去	オーストリア併合				第四回「統一科学国際会議」(ケンブリッジ)	
			レシニェフスキ死去				タルスキ渡米		
第二次世界大戦勃発									
1939			ポーランド占領						
			ワルシャワ大学閉鎖によりウカシェヴィチ失職				第五回「統一科学国際会議」(ハーバード)		
		チェコスロバキア解体							

「知られざるコンピューターの思想史」第1部 年表 ～ライプニッツ誕生(1646)からフォン・ノイマン死去(1957)まで～

西暦	オーストリア				ドイツ		アメリカ	イギリス	その他
	ハンガリー	チェコ	ポーランド	本国	プロイセン	ドイツ諸邦			
1940							ゲーデル渡米	ノイラート渡英	
1941							第六回「統一科学国際会議」(シカゴ)		
1943						ヒルベルト死去			
1945	第二次世界大戦終結								
			ポーランド独立、領土が西よりに						
1946	ハンガリー共和国成立						タルスキ、ポーランドに残してきた家族と再会 プリンストン大学創立200周年記念数学会議		ウカシェヴィチ、王立アカデミーの論理学教授職就任(アイルランド)
1948							タルスキ、ランド研究所報告書作成(決定機械)		
1949						東西ドイツ成立			
1951									ウカシェヴィチ、ポーランド記法を英語で出版(アイルランド)
1953			『ストウディア・ロギカ』復刊						
1954								チューリング死去	
1955				オーストリア独立					
1956									ウカシェヴィチ死去(アイルランド)
1957							フォン・ノイマン死去		